

内容見本

本教材は授業や療育等で使用される場合に限り、複写可能です。
ただし本教材をお持ちの学校内、施設内に限ります。

ソーシャルストーリー編

■個別指導の例

- ① ソーシャルストーリーを読み、
※読解問題ではありませんので、
示すなど、より伝わりやすい
- ② どのようなお話だったかをお話
- ③ ワークシートの問題を読み上げ、
※回答については、必ずしも筆答
や、お子さんの発言を書きとめる
- ④ お子さんの回答を聞き、なぜその
※似たような説明が続くときには
- ⑤ スキルアップ・コラムを読み、

■集団指導の例

- ① ソーシャルストーリーとワーク
※（上記①を参照）
- ② 一人ひとりでワークシートに
- ③ どのような回答をしたのか、ど
は学級全体で）
- ④ スキルアップ・コラムとふりか
ふりかえりシートを記入しま

事前解説ページに、
個別指導、集団指導の
取り組み例を掲載

● ソーシャルストーリー	な ま え	組	番	月	日
4 やるべき時に					

お話を読んで答えましょう

①ストーリーを読み、
質問でまず「考える」

昨日の夜、マサヤさんは、ついつい長い時間ゲームをやってしまい、宿題があまりできませんでした。まだ半分も終わっていません。

そのことを気にしていた マサヤさんは、朝学校につくと、自分の席にすわって宿題の続きをはじめました。

そこに、ヒカルさんがやってきて、マサヤさんに話しかけました。

2：ヒカルさんは、どのような子だと思いますか。あてはまるものすべてに○をしましょう。

- () 人のよくないところを、すぐに口に出して言ってしまう子
() のんびりしていて、おだやかな子
() いやなことがあると、すぐに手を出してしまう子
() 人の気持ちよりも「こうするべきだ」ということを大切にすること

②回答の理由を確認

3：このお話の続きは、どうなったと思いますか。

スキルアップ・コラム

● ソーシャルストーリー4 やるべき時に

③コラムを読み、対話を通じてさらに
考えを深める

やるべきことに、なかなか取り組みない時

やるべきだと分かっていても、なかなか手につかないことがありますか？ やるべきことをやらないままだと、ソワソワした気持ちになり、落ち着かないし、イライラもするので、よくありません。マサヤさんもゲームをしながら、どこかで宿題を気にしてはいたはずですが、早くやっておかないと、後でこまったことにもなってしまいます。

「とりあえず10分がまんして、宿題をやろう！」「まず3問解いてみよう！」など、はじめに短めの区切りをつけながら、取り組んでみましょう。そうすると、一気にできてしまうかもしれません。

別ページに解答、解説を掲載

このストーリーには2つのテーマがあります。
まず、「やるべきことがなかなか進められない」というお子さんに対して、コラムでは、「やるべきことを先送りすると落ち着かない」「あとで困る」ことを伝え、上段で、「時間を短くともまず始めてみる」ということを提案しています。車の走り出しのように、始める時が一番負担感が大きいので、「まずここまで」「まず〇分」など、短めに区切りをつけておくことで、取り組みやすくなることがあります。
「人の欠点を言ってしまう」というお子さんは、人の事は言うけれども自分もできていないなど、様々な課題を抱えている事があります。この教材を通して、自分のことを振り返らせてあげましょう。その上でコラムを通し、進め方も完璧にはなれないことや、できていないところを何度も言わないこと、いいところを見つけていくことの大切さ、人と人の関係の作り方など、お子さんに応じて課題をふくらませてください。

はんだん力アップ講座編

● はんだん力アップ講座	な ま え	組	番	月	日
1 学校○×					

お話を読み、やっていいことや、よくないことをよく考え、やっていいことなら○、よくないことなら×を、() に書きましょう。

①ミニストーリーを
読んで考える

1：授業中、となりの席の子が、消しゴムのカスを丸めて飛ばしてきた。やめさせるために、その子の消しゴムを取り上げた。

②回答の理由を確認

2：クラスの話し合い。1月の球技大会でやるスポーツを決めていた。何人かの子が「ドッジボール」と言った。ほかに意見がなさそうだったが

スキルアップ・コラム

● はんだん力アップ講座1 学校○×

③コラムを読み、対話を通じてさらに
考えを深める

1：×
授業中に消しゴムのカスなどを飛ばしあって、トラブルになることがあります。もし自分のところに飛んできたら、「やめて」と言ってもかまいません。それでも止まらないようでしたら、先生に伝えましょう。自分で相手のものを取り上げたりすると、トラブルになってしまうことがあるので、やってはいけません。

2：○
話し合いの場所で、自分の意見を言うことは大切なことです。この場合には一つの提案をただけですので、問題はありません。ただ、多数決で負けてしまったあとにも自分の意見にこだわらずに周りの意見にしたが